

事務事業名		商店街活性化事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	営業推進課
	政策	06	中心市街地の活性化	係	賑わい創生係
	施策	01	中心市街地活性化の推進	内線電話	256
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	7款	商工費	計上	
	項	1項	商工費	実施期間	
	目	2目	商工振興費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	商店街（市街地）各店舗	商店街（市街地）の活性化を推進する	
現状・課題	郊外の大型店に顧客が流出しており、商店街（市街地）の個々の店舗への来客が増える事業展開が必要である。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市店舗改修等支援事業補助金交付要綱、中野市中野陣屋・県庁記念館特別展開催事業補助金交付要綱ほか	
事務事業概要	郊外の大型店に顧客が流出しており、商店街（市街地）の個々の店舗への来客が増える事業展開が必要である。		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	市商店会連合会活性化推進事業補助金交付		1件
	店舗改修等支援事業補助金交付		3件
	中野陣屋・県庁記念館特別展開催事業補助金交付		1件（特別展3回開催）
	活性化推進イベント支援事業補助金交付		1件
	モバイルPOSレジシステム導入支援事業補助金交付		5件

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	8,631,000	9,849,000
補正・流用等		円		6,000,000	—	
合計		円	8,631,000	15,849,000	9,349,000	
決算（見込）額 A			円	4,390,823	15,849,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	598,000	599,000	599,000
	一般財源	円	3,792,823	15,250,000	8,750,000	
正規職員数		人	0.68	0.68	0.67	
人件費 B		円	4,375,120	4,380,560	4,316,140	
総事業費 A+B		円	8,765,943	20,229,560	13,665,140	
市民1人当たりコスト		円	205	475	322	

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
歩行者通行量 （日曜：市街地10箇所）		増加	目標	1,726	人	1,744	人	1,430	人
			成果	1,408	人	1,259	人	—	
歩行者通行量 （平日：市街地10箇所）		増加	目標	3,416	人	3,450	人	2,425	人
			成果	2,287	人	2,426	人	—	
成果指標と目標値を設定した理由	令和2年度以降の目標値は、過去3年間の平均値の1%増加した数値である。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	上げる
	効果が上がるよう事業内容を工夫し、各事業を推進する。						

